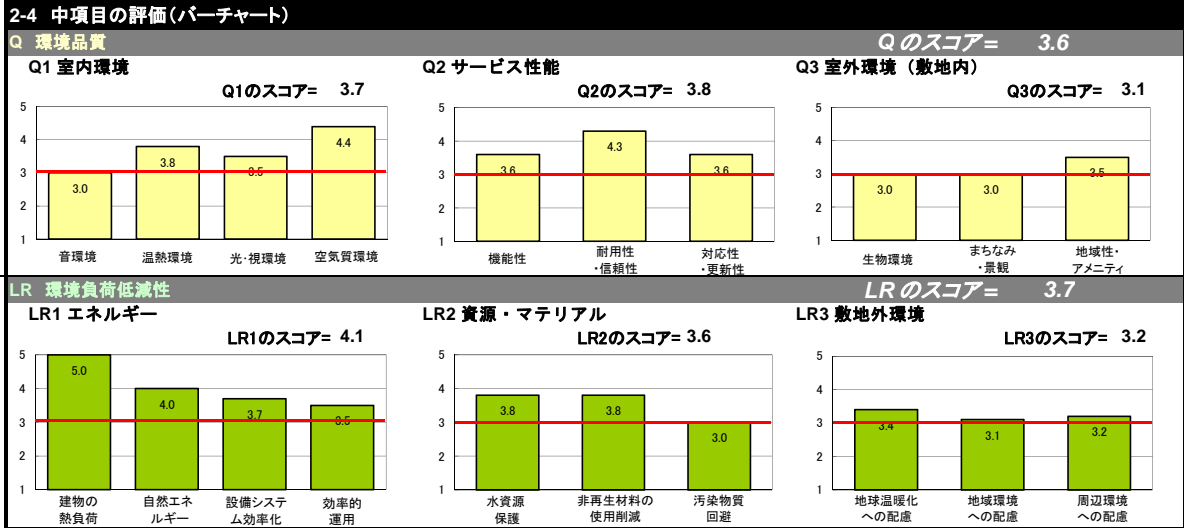
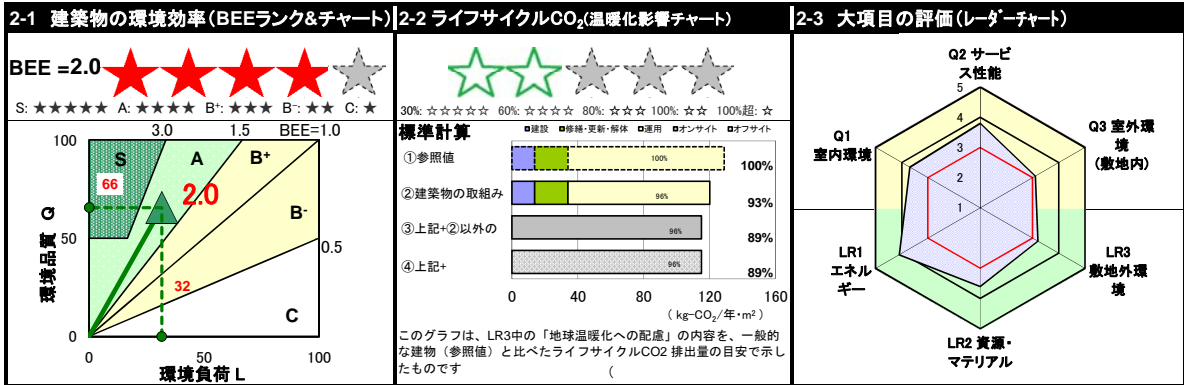


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	阿久比町新庁舎	階数	地上4F
建設地	愛知県知多郡阿久比町大字卯坂字	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	500 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,500 時間/年
建物用途	事務所、集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2014年5月1日
敷地面積	16,975.27 m <sup>2</sup>	作成者	川井茂輝
建築面積	3,570.40 m <sup>2</sup>	確認日	2014年6月1日
延床面積	8,320.19 m <sup>2</sup>	確認者	益田正博



### 3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.4</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.0</p> <table border="1"> <tr> <td>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</td> <td>31.0 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</td> <td>5.2 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)	31.0 %	建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)	5.2 %
外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)	31.0 %				
建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)	5.2 %				
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.8</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <table border="1"> <tr> <td>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</td> <td>なし</td> </tr> </table>	<外装材に使用した地域性のある材料>	なし	<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>	なし
<外装材に使用した地域性のある材料>	なし				
<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>	なし				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
 LR-3 1 地球温暖化への配慮  
 ②資源の有効活用  
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
 LR-2 2 非再生性資源の使用削減  
 ③敷地内の緑化  
 Q-3 1 生物環境の保全と創出  
 ④地域材の活用  
 Q-3 2 まちなみ・景観の配慮 4) 地域性のある素材による良好な景観形成

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	県独自基準	重点項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>3.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>										<b>3.7</b>
<b>1 音環境</b>										<b>3.0</b>
1.1 騒音				3.0	0.17					
1.1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40					
1.1.2 設備騒音対策				3.0	1.00	3.0	-			
1.2 遮音				3.0	0.40					
1.2.1 開口部遮音性能				3.0	0.69	3.0	-			
1.2.2 外壁遮音性能				3.0	0.31	3.0	-			
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-			
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	-			
<b>2 温熱環境</b>										<b>3.8</b>
2.1 室温制御				3.8	0.37					
2.1.1 室温				3.4	0.50					
2.1.2 負荷変動・過渡制御性				3.0	0.40	3.0	-			
2.1.3 外皮性能			緑側モール(庇)やルーバーによる日射の抑制	5.0	0.24	3.0	-			
2.1.4 ゾーン別制御性				3.0	0.37					
2.1.5 湿度・湿度制御				-	-	-	-			
2.1.6 個別制御				-	-	-	-			
2.1.7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-			
2.1.8 監視システム				-	-	-	-			
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式			一階町民ホールに床輻射冷暖房を採用	5.0	0.30	3.0	-			
<b>3 光・視環境</b>										<b>3.5</b>
3.1 昼光利用				3.5	0.20					
3.1.1 昼光率				3.0	0.30					
3.1.2 方位別開口				3.0	0.60	3.0	-			
3.1.3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策				3.0	0.30					
3.2.1 照明器具のグレア				3.0	1.00	3.0	-			
3.2.2 昼光制御				3.0	-	3.0	-			
3.2.3 映り込み対策				3.0	-	3.0	-			
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	-			
3.4 照明制御			照明制御にて明るさセンサーによる自動調光、点滅の実施	5.0	0.25	3.0	-			
<b>4 空気環境</b>										<b>4.4</b>
4.1 発生源対策				4.4	0.27					
4.1.1 化学汚染物質			IS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に使用	5.0	1.00	3.0	-			
4.1.2 アズベスト対策				-	-	-	-			
4.1.3 ダニ・カビ等				-	-	-	-			
4.1.4 レンオネラ対策				-	-	-	-			
4.2 換気				3.7	0.30					
4.2.1 換気量			換気量30m <sup>3</sup> /h人で計画	4.0	0.37	3.0	-			
4.2.2 自然換気性能				3.0	0.27	3.0	-			
4.2.3 取り入れ外気への配慮			給排気口設置箇所の配慮	4.0	0.37	3.0	-			
4.2.4 給気計画				-	-	-	-			
4.3 運用管理				4.0	0.20					
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0	0.50	-	-			
4.3.2 喫煙の制御			建物内全館禁煙。	5.0	0.50	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>										<b>3.8</b>
<b>1 機能性</b>										<b>3.6</b>
1.1 機能性・使いやすさ				3.6	0.40					
1.1.1 広さ・収納性				3.0	0.40					
1.1.2 高度情報通信設備対応				3.0	0.26	3.0	-			
1.1.3 バリアフリー計画				3.0	0.48	3.0	-			
1.2 心理性・快適性				4.7	0.30					
1.2.1 広さ感・景観			主な執務室の天井高は2.8m	4.0	0.26	3.0	-			
1.2.2 リフレッシュスペース			建物内全館禁煙。その上で、リフレッシュコーナー等設置	5.0	0.26	-	-			
1.2.3 内装計画			インテリアパースにて建築主に確認、展開図も作成	5.0	0.48	-	-			
1.3 維持管理				3.5	0.30					
1.3.1 維持管理に配慮した設計			メンテナンスしやすい。	4.0	0.50	-	-			
1.3.2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-			
1.3.3 衛生管理業務				-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>										<b>4.3</b>
2.1 耐震・免震				4.3	0.31					
2.1.1 耐震性			耐震構造ホール棟・緑側モールは重要度係数I=1.5	5.0	0.48	-	-			
2.1.2 免震・制振性能			庁舎棟は巨大地震にも対応する免震構造	5.0	0.80	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数				0.20	0.20	-	-			
2.2.1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.33	-	-			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		②		3.0	0.23	-	-			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-			
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.09	-	-			
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.08	-	-			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.15	-	-			
				3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性				4.8	0.19			
1	空調・換気設備		②	熱源に電気/ガスを採用。重要室は非常用発電機でバックアップ。	5.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備			井水・雨水利用。災害用排水貯留槽を設置。	5.0	0.20	-	-
3	電気設備			受変電設備は3階に設置し二系統受電、自家発電機を屋上に設置	5.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法			耐震クラスS	5.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備			光ケーブル及び県防災無線受信設備あり、サーバー室は3階に設置	4.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性				3.6	0.29			3.6
3.1 空間のゆとり				4.4	0.31			
1	階高のゆとり			階高の平均は4.35m	5.0	0.47	3.0	-
2	空間の形状・自由さ			階段等のコアをコンパクトにまとめた	4.0	0.53	3.0	-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31			3.0
3.3 設備の更新性				3.6	0.38			
1	空調配管の更新性		②	点検口を適切に配置	3.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性			電機専用シャフトを計画、OAフロアと連結している	4.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性			点検口を適切に配置	5.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性				5.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性				3.0	0.22	-	-
6	バックアップスペース				3.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30			3.1
1 生物環境の保全と創出		●	③	3.0	0.30			3.0
2 まちなみ・景観への配慮		●	④	メインアプローチとなる近くの橋からの見え方も検討	3.0	0.40		3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.5	0.30			3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	●	④	一階には大きな庇=縁側モールを設けた	4.0	0.50		-
3.2	敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-			3.7
LR1 エネルギー				-	0.40			4.1
1 建物の熱負荷抑制				縁側デッキやルーバーによる日射の抑制	5.0	0.30		5.0
2 自然エネルギー利用				4.0	0.20			4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用			免震ヒットを利用した外気の取り入れ	4.0	0.50		-
2.2	自然エネルギーの変換利用			太陽光発電設備80KW	4.0	0.50		-
3 設備システムの高効率化				効率化を図る器具を多数使用	3.7	0.30		3.7
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)				#VALUE!	3.7			-
集合住宅の評価					3.0			-
4 効率的運用				3.5	0.20			3.5
4.1	モニタリング			電力、ガス消費量の計量	4.0	0.50		-
4.2	運用管理体制			3.0	0.50			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30			3.6
1 水資源保護				3.8	0.15			3.8
1.1	節水			節水型便器の採用	4.0	0.40		-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			雑排水(便所洗浄水)への利用	3.6	0.60		-
1	雨水利用システム導入の有無				4.0	0.67		-
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33		-
2 非再生性資源の使用量削減				3.8	0.63			3.8
2.1	材料使用量の削減			3.0	0.07			-
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24			-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-	3.0	0.20		-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	●		床材、壁紙、タイルなどエコマーク商品を設計段階で指定	5.0	0.20		-
2.5	持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.05		-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組	●		躯体と内装仕上げは用意に分離可能。OAフロアを利用。	5.0	0.24		-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22			3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32			-
3.2	フロン・ハロンの回避			3.0	0.68			-
1	消火剤			-	-			-
2	発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50			-
3	冷媒			3.0	0.50			-
LR3 敷地外環境				-	0.30			3.2
1 地球温暖化への配慮			①	ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参照値)と同等	3.4	0.33		3.4
2 地域環境への配慮				3.1	0.33			3.1
2.1	大気汚染防止			3.0	0.25			-
2.2	温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			-
2.3	地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25			-
1	雨水排水負荷低減	●		雨水利用システムの導入	4.0	0.25		-
2	汚水処理負荷抑制	●		十分な駐車確保。出入口も数箇所設置し、混雑回避。	3.0	0.25		-
3	交通負荷抑制	●			5.0	0.25		-
4	廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25		-
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33			3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			-
1	騒音	●		3.0	0.33			-
2	振動	●		3.0	0.33			-
3	悪臭			3.0	0.33			-
3.2	風害・砂塵・日照障害の抑制			3.0	0.40			-
1	風害の抑制			3.0	0.70			-
2	砂塵の抑制			3.0	-			-
3	日照障害の抑制			3.0	0.30			-
3.3	光害の抑制			4.4	0.20			-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			光害対策ガイドラインの過半を満たす	5.0	0.70		-
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30			-

**重点項目スコアシート**  
阿久比町新庁舎

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-あいち2011年度追補版Ver.2 (E)

■評価ソフト:

CASBEE-NCb\_2011 (bpi&bei) v.1.4\_aichi

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.4</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.4	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>3.8</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	4.3	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.8	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>3.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	
<b>④ 地域材の活用</b>				<b>1.0</b>
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

計画上の配慮事項	
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 周辺の豊かな緑と一体となる風景を創出する。 災害時の機能継続、省エネルギーに配慮した施設計画とする。
Q1 室内環境	注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 施設特性や運用形態に適切な室内環境を確保した。
Q2 サービス性能	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 防災拠点としての信頼性、機能性を重視した計画とした。
Q3 室外環境(敷地内)	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 周辺の丘状地形との調和に配慮した建物形態とした。
LR1 エネルギー	注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 自然エネルギーの有効利用に配慮した計画とした。
LR2 資源・マテリアル	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 節水、有害物質の排除に配慮した計画とした。
LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 近隣の住宅環境の保全に配慮した計画とした。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。